

身近なものにも命の危険が！住宅火災から命を守ろう！

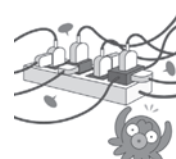
住宅などの財産だけではなく命も奪う恐ろしい火災。住宅火災によって、毎年約900人の方が亡くなっております。その半数が「逃げ遅れ」によるものです。出火原因は、たばこ・ストーブ・こんろ・電気機器など生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

火災の発生や命を守るために、日頃から下記のポイントに取り組みましょう。

住宅火災から命を守る10のポイント

《4つの習慣》

- ①寝たばこは 絶対やめる！
- ②ストーブの近くに燃えやすいものを置かない！
- ③コンロを使う時は 火のそばを離れない！
- ④・たこ足配線は行わない！
・コンセントのほこりを清掃する！
・ unnecessary プラグは抜く！



《6つの対策》

- ①安全装置のついた機器を使用する！
- ②住宅用火災警報器を設置し、点検・交換の維持管理をする！
- ③寝具やカーテンは 防炎品を使用する！
- ④消火器を設置し、使用方法を確認する！
- ⑤避難経路と避難方法の確認をする！
- ⑥お年寄りやからだの不自由な方を守るために隣近所の協力体制を作る！

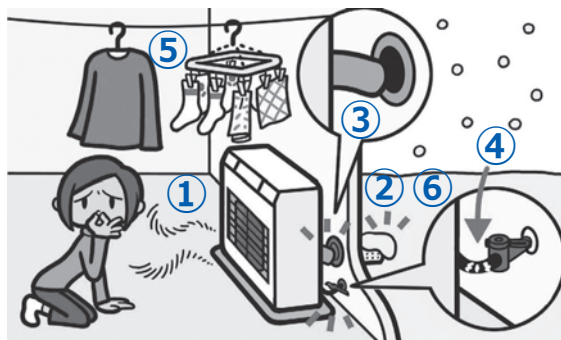


定期的な点検しよう



暖房機器 使う前にまず点検を！

朝晩の冷え込みが強まり、肌寒いと感じる季節になりました。本格的な冬を迎える前に長期間お休みしていた暖房機器を安全に使用するため、使い始めの点検をするとともに使用時の注意点を確認し火災を未然に防ぎましょう。



《使用期間前》

- ①変な臭いはしていませんか？
- ②排気筒にゴミが詰まっていますか？
- ③排気筒が外れていませんか？
- ④ゴム製送油管にひび割れたり、油漏れはありませんか？

《使用期間中》

- ⑤洗濯物を干していませんか？
- ⑥積雪により排気筒に雪が詰まっていますか？

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

沼田町
防火標語

